

# 塩尻市内の子どもの貧困率は全国並み

その他の  
質問事項

- ▼ 塩尻・木曾地域地場産業振興センター運営と漆器産業の振興
- ▼ プレミアム商品券の発行とキャッシュレス決済の推進

新政会  
かねこ  
金子

かつとし  
勝寿



## ◆子どもの貧困率は全国並み

**問** 市内の子どもの貧困率、就学扶助等申請数、ひとり親家庭の年収は。

**答** 国の調査で「子どもの貧困率」は、13・5%。塩尻市でも同等の数値で7人に1人の割合で子どもの貧困状態が生じている。「就学援助費」の過去3年間の認定数は600人台後半で推移しており、全体の約13%となっている。ひとり親家庭の年収は、平均約260万円、児童扶養手当を受給した家庭は、平均196万円となっていることから、ひとり親家庭への支援を強化していく。

(家庭支援課)

## ◆「のーと塩尻」への転換で市内85%をカバー

**問** 次世代交通システムの導入で、車に頼らない生活が実現できるか。

**答** 塩尻市公共交通計画では、令和6年までに地

域振興バスの10路線中6路線を「のーと塩尻」に転換予定。市の総人口の約85%を「のーと塩尻」によってカバーできると予想している。

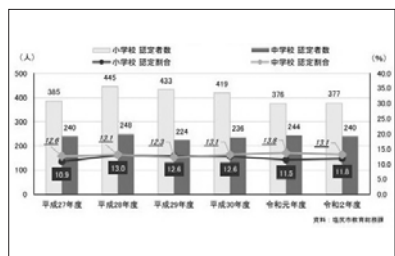
(都市計画課)

## ◆ウイングロードビルの維持費

**問** 今後20年の維持費は。

**答** ウイングロードビルは開業から29年が経過し老朽化が進んでいる。建物の使用目標年数を80年と定め、改修や更新を実施している。今後20年間の改修等に関する事業費は約8億円と想定している。

(都市計画課)



塩尻市就学援助・認定者の推移

# 自然博物館の移転先は納得のできる結論を

その他の  
質問事項

- ▼ 市長の政治姿勢について
- ▼ 運動部活動の地域移行計画作成に係る本市の状況

新政会  
あかはね  
赤羽 誠治



## ◆自然博物館の移転計画

**問** 自然博物館は、小坂田公園レストラン棟1階を移転候補地として検討しているとのことだが、自然博物館研究会、専門家などの十分な議論を経ての判断か。

**答** 自然博物館研究会は博物館の今後のあり方を研究するため、令和2年度に立ち上げ全5回の会議の中で検討してきた。この議論と並行して、市では財政状況や建物の縮減目標などを考慮し、新築ではなく既存の市遊休施設を活用して整備する方向で検討した結果、小坂田公園内のレストラン棟1階を博物館として改装する考えとした。幾度かの博物館研究会の中で移転先について、市の考え方をお示しし、ご意見をいただいているが、現状においては小坂田公園内に設置する方向で調整している。

(文化財課)

## ◆先日の本会議で市長

は、収蔵庫は現施設を活用すると明言している。自然博物館を改修する子どもアスレチックを計画変更して、現施設で博物館を運営するのが最善の選択と考えるがどうか。

**答** 雨天時や冬場の遊び場を室内に設置するというところで計画をした。再整備計画どおり進めていく考えである。

(都市計画課)

**要望** ふるさとの豊かな自然を守り、未来へと伝える博物館にするため、後顧の憂いのないように納得のできる結論を導き出して欲しい。



再整備中の小坂田公園と自然博物館